

# 東建パブリリニユース

平成28年11月4日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成28年10月29日 産経新聞 P. 20

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

**東建コーポレーション「栄タワーヒルズ」**

## 富裕層に高いニーズ

シティホテル感覚で暮らせる高級賃貸マンション「栄タワーヒルズ」が名古屋市中区栄3丁目に建設される。事業主体は、賃貸住宅の建築や仲介事業の東建コーポレーション（左石田鑑徳社長兼会長、本社・名古屋市中区）。完成は平成30年2月末の予定。

敷地西隣には名古屋の中心部だが非常に緑が多く穏やかな空気が漂う「白川公園」がある。公園内には名古屋市美術館や名古屋市科学館がある。東隣は名古屋総領事の若宮八幡社もあり、閑静で利便性の高い地域だ。「栄タワーヒルズ」は、28階建て、高さ100m超、総敷地面積、約3100平方m。延べ床面積、約2万7000平方m。総工費は約200億円。低層階の1〜4階は、同社部門の一部や関係子会社が入り、重要文化財を含む常時約60振りの刀を展示する刀剣コレクションホール（入場料無料）も設置される。中高層の5〜27階が1〜3LDKの賃貸部分で、部屋数は156戸。賃貸料は10万〜160万円を予定。入居者には、コンシェルジュが高級ホテルのようなさまざまなサービスを提供する（一部有料）という。最上階の28階は展望デッキだ。

建設にあたり左石田社長は「高級賃貸物件が少ない名古屋は、外資系企業や大手企業の役員クラス、富裕層にニーズがある」と話していた。

賃貸部分最上階の27階には2部屋の「スイートプレミアム」がある（完成予想図）



左右田社長



▲平成28年10月29日 産経新聞 P. 20

以上